

日本サウンドスケープ協会 2019年度通常総会等の会議の流れと議決内容

(1) 総会

【会員の1/5以上の出席（委任状含む）で成立。】

出席 15 名 委任状 49 名 合計 64 名 30/148以上で成立

議長は常務理事会が推薦し総会参加者の過半数から承認され、箕浦一哉さんが選出された。

審議事項：理事・監事はすべて承認された。（第1号議案）

(2) 理事会

【会員の2/3以上の出席（委任状含む）で成立。】議決は出席者の過半数で決し、同数の場合は議長が定める。

出席 11 名 委任状 13 名 合計 24 名 20/30以上で成立

審議事項：常務理事には以下の8名が選出された。

今田匡彦、兼古勝史、小菅由加里、土田義郎、鳥越けい子、船場ひさお、平松幸三、箕浦一哉、

(3) 常務理事会

【会員の2/3以上の出席（委任状含む）で成立。】

出席 6 名 委任状 2 名 合計 8 名 6/8以上で成立

審議事項：常務理事会の互選で、土田義郎さんが理事長に選出された。

総会議長の推薦は箕浦一哉さんとすることを決した。

規約に定めないものうち理事長が重要と認めるもの→委員長等を以下選出。

国際委員長：今田匡彦、アーカイブ事業運営委員長：兼古勝史、研究会担当：小菅由加里、

企画運営委員長：鳥越けい子、20周年コンテンツ化担当：船場ひさお、

協会誌編集委員長：平松幸三、学術事業運営委員長：箕浦一哉、事務局長：鷺野宏

(4) 総会

【会員の1/5以上の出席（委任状含む）で成立。】議長は常務理事会が推薦し総会参加者の過半数から承認

出席 17 名 委任状 49 名 合計 66 名 30/148以上で成立議

審議事項：事業報告・収支決算（第2号議案）は提出議案のとおりで承認された。

総会で議決すべき事項：協会法人化（第3号議案）は一部修正の上承認された。

今回審議予定なし：規約の改正

(5) 理事会

【理事の2/3以上の出席（委任状含む）で成立。】議決は出席者の過半数で決し、同数の場合は議長が定める。

出席 15 名 委任状 13 名 合計 28 名 20/30以上で成立

審議事項：事業の事業計画案及び予算案（第4号議案）は提出議案のとおり承認された。

今回審議予定なし：規約の改正（総会再議決必要）／総会で議決すべき事項等

日本サウンドスケープ協会

第27回（2019年度）通常総会・理事会

日 時：2019年5月26日（日）10:00～12:00

会 場：青山学院アスタジオ・地下ホール

【議 案】

●第1号議案 2019年度－20年度理事の承認

2019年度－2020年度理事の承認 [資料1]

2019年度－2020年度監事の承認 [資料2]

●第2号議案 2018年度事業報告および決算

2018年度事業報告案 [資料3]

2018年度決算案 [資料4]

2018年度監査報告 [資料5]

●第3号議案 協会法人化の検討

協会法人化に関する検討案 [資料6]

●第4号議案 2019年度事業計画および予算

2019年度活動方針ならびに事業計画案 [資料7]

2019年度予算案 [資料8]

[資料1] 2019年度－2020年度理事の承認

2019年度－2020年度を任期とする理事選挙は、山内悟・選挙管理委員長のもと、理事選挙実施要領第4条に基づき、書面にて理事立候補者を募り28名の立候補者を得ました。立候補者数が規約（第9条）に記されている定員35名以下でしたので、要項第4条3項により2名を常務理事会推薦として加え、下記の30名につき、要領第5条の規定により本理事選挙は信任投票となりました。なお、下記名簿中に※がついている方は、理事選挙実施要領第4条3項（定員に満たないときに常務理事会が理事候補者を推薦できる制度）により常務理事会が推薦した候補です。有効投票数は61通について5月15日に下記のとおり開票をおこなった結果、候補者全員が信任されました。協会が郵送時に把握している暫定有権者数は148名ですので、暫定的投票率は41.12%でした。本件は、総会での承認をもって任期がはじまります。

日本サウンドスケープ協会理事・当選者名簿

<input type="checkbox"/> 池田 順一	<input type="checkbox"/> 池村 弘之※	<input type="checkbox"/> 今井 信	<input type="checkbox"/> 今田 匡彦	<input type="checkbox"/> 岩宮眞一郎
<input type="checkbox"/> 上野 正章	<input type="checkbox"/> 兼古 勝史	<input type="checkbox"/> 川井 敬二	<input type="checkbox"/> 川崎 義博	<input type="checkbox"/> 神林 哲平
<input type="checkbox"/> 倉谷 英和	<input type="checkbox"/> 小菅 由加里	<input type="checkbox"/> 小林 田鶴子	<input type="checkbox"/> 小西 潤子	<input type="checkbox"/> 斎藤 馨
<input type="checkbox"/> 塩川 博義	<input type="checkbox"/> 鈴木 秀樹	<input type="checkbox"/> 曾和 治好※	<input type="checkbox"/> 大門 信也	<input type="checkbox"/> 土田 義郎
<input type="checkbox"/> 鳥越 けい子	<input type="checkbox"/> 中川 眞	<input type="checkbox"/> 中間 和之	<input type="checkbox"/> 佐藤 宏	<input type="checkbox"/> 平野砂峰旅
<input type="checkbox"/> 平松 幸三	<input type="checkbox"/> 船場 ひさお	<input type="checkbox"/> 箕浦 一哉	<input type="checkbox"/> 柳沢 英輔	<input type="checkbox"/> 鷺野 宏

凡例 氏名の後に※：常務理事会推薦

<開票詳細>

開票日時：2019年5月15日（水）／開票場所：青山学院大学3号館／開票者：選挙管理委員長山内悟
／立会人：福田一樹（青山学院大学4年生）／開票手順及び開票結果：有効投票61通について、投票者名が明らかとならぬように、返信用封筒の開封をおこない、集計作業をおこなった結果、立候補者名簿に記載の全員が信任されたことを確認した。なお、協会からの郵送時に協会が把握している暫定有権者数は、会員より団体会員を除く148名（うち4件には住所不明扱い）、投票数は61、暫定投票率は41.12%となりました。

[資料2] 2017年度－2018年度監事の承認

細則第3条4に基づき、理事会より監事候補が推薦されました。

2019年度－2020年度を任期とする監事は、総会での承認をもって任期がはじまります。

日本サウンドスケープ協会監事・理事会推薦

入江和朗 沖山文敏

[資料3] 2018年度事業報告案

1. 2018年度会員状況 (※下線部上の数字が2018年度の会員数)

総会員数 152名(2018年度:154名)

内訳

一般会員 141名(2018年度:139名)

2名増:入会 名、退会 名、一般会員から学生会員への変更 名

学生会員名 7名(2018年度:11名)

4名減:入会 名、退会 名、学生会員から一般会員への変更 名

賛助会員 0団体(0団体)

団体会員 4団体(2018年度:4団体)

変動なし:入会0団体、退会0団体

※会員数は2019年3月31日現在、協会が把握している会員情報で算出。

()内の会員数は2018年度の会員数

2. 総会・シンポジウムの開催

・総会(主担当:活動推進委員会)

日時:2018年5月19日(土)12:45-13:45

会場:同志社大学・寒梅館 地下A会議室

出席:81名(出席:17名、委任状64名)

・シンポジウム(主担当:企画運営委員会)

タイトル「今、京都から再び」

日時:2018年5月19日(土)15:00-17:30

会場:同志社大学・寒梅館 地下A会議室

総合司会:箕浦一哉(山梨県立大学国際政策学部教授)

○挨拶 25周年を迎えて 鳥越けい子(理事長)

○第1部 講演:音響史の中のサウンドスケープ 平松幸三(京都大学名誉教授)

○第2部 講演会 モデレーター:平野砂峰旅(京都精華大学教授)

「音風景100選による都市再生」

鳥越けい子(青山学院大学教授) 安本義正(京都文教短期大学学長)

「京都の景観とサウンドスケープ」

曾和治好(造園家・デザイナー) 岩村謙次(京都市道路環境整備課)

「サウンドスケープはどこに向かうか」

若尾裕(神戸大学名誉特任教授・広島大学名誉教授)

参加者概数： 35 名（会員 27 名，一般 5 名，学生 3 名）

・情報交流会

日時：2018年5月19日（土）18:00-20:00

会場：同志社大学・寒梅館1F アマーク・ド・パラディ

参加者概数： 29 名（会員 23 名、一般 6 名、学生 0 名）

3. 例会の開催

下記の通り、3回実施した。

(1) 「水系と音風景が繋ぐ 善福寺池と小菅村-土地の記憶の発掘・継承・発信-

日時：2018年11月4日(日)18:00-

会場：井萩会館

参加者数：会員 3 名 一般 48 名 計 51 名

主催：青山学院大学総合文化政策学部鳥越研究室

共催：日本サウンドスケープ協会

協力：法政大学江戸東京研究センター

(2) 国際ワークショップ 庭園の音風景を記述する

日時：2018年12月10日（月）9:00-16:30

会場：無鄰菴（京都市）

参加者：会員 6 名 一般 9 名 計 15 名

企画：Gunnar Cerwén

世話人：曾和治好、土田義郎（庭園WG）

(3) 伊賀上野のミュージックサイレンを聞く会

日時：2019年3月9日

会場：三重県伊賀市内

参加者：会員 6 名 一般 0 名 計 6 名

企画：上野正章

主催：日本サウンドスケープ協会

4. 研究発表会の開催

・春季研究発表会

日時：2018年5月20日（日）9:15~13:00

会場：同志社大学良心館R Y105 教室

内容：発表形式A 5件、発表形式B 1件、ショートトークセッション1件

参加者： 30 名（会員 23 名、一般 7 名）

実行委員会：箕浦一哉（山梨県立大学・実行委員長）、
上野正章（京都市立芸術大学）、柳沢英輔（同志社大学）

・秋季研究発表会

日時：2018年12月2日（日）9:30～15:30

会場：青山学院アスタジオ 講義室

共催：青山学院大学総合文化政策学部鳥越研究室

内容：発表形式A 5件、企画セッション「浜松研究会報告」3件

参加者： 26 名（会員 18 名、一般 5 名、学生 3 名）

実行委員会：箕浦一哉（山梨県立大学・実行委員長）、
上野正章（京都市立芸術大学）、鳥越けい子（青山学院大学）

5. 共同研究プロジェクトの開催

サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために下記の通り4回の研究会を開催したほか、複数のネット会議を実施した。

下記のとおり集合しての研究会を 4 回開催した。

- ・第1回：2018年5月20日（日）14:45～16:45、同志社大学良心館 RY105 教室にて
- ・第2回：2018年8月20日（月）～22日（水）、浜松市内にて
- ・第3回：2018年12月2日（日）16:30～17:30、青山学院アスタジオ地下講義室にて
- ・第4回：2019年3月11日（月）～13日（水）、浜松市内にて

また、プロジェクト活動と関連して「ミュージックサイレン保全・利活用に係る提言書」を日本サウンドスケープ協会「音の文化遺産」保全検討委員会名義で2018年12月25日に公表した。

6. 研究会（ワーキング・グループ）活動・震災プロジェクトへの助成等

ワーキング・グループ（WG）およびプロジェクトに対し下記のとおり助成をおこなった。

助成申請のあったWGに対し活動経費のうち3万円程度を上限に助成をおこなうもの。

プロジェクトについては、5万円程度を上限に経費支給を継続している。

助成グループ名称	助成額	内容
震災プロジェクト	41,505円	交通費
自然のひびきを聴く会WG	30,880円	講師料・交通費・会場費ほか
サウンドスケープ・デザイン・ラボWG	8,639円	会場費等の収支マイナス分

7. 広報活動ならびに関連事業として

- ・協会ウェブサイトの運営
ワーキング・グループの定義・活動紹介および設立申請・助成申請書のフォーマットを掲載
- ・各種メーリングリストの運営
- ・フェースブックの運営（一般公開用・会員専用）

8. 協会誌の発行

- ・『サウンドスケープ』第18巻を発行した。
- ・『サウンドスケープ』第19巻の発行の準備をした。

9. 国内外の団体との連携・交流

- ・協会主催企画や国際委員会等を通じて内外団体との連携・交流を進めた。

10. その他

・第1回常務理事会

日時：2018年5月19日（土）10:30-11:30

会場：同志社大学寒梅館・地下A会議室

常務理事の出席：土田・柳沢・平松・箕浦・鳥越の5名出席 委任状：今田・船場・小菅

監事の出席：入江の1名の出席 陪席：倉谷英和・小西潤子・兼古勝史の3名 事務局：鷺野

・第2回常務理事会

日時：2018年12月1日（土）17:00-19:15

会場：青山学院大学3号館4階・3408教室

常務理事の出席：平松・鳥越・箕浦・土田 欠席：小菅・今田・柳沢・船場

監事の出席：入江・沖山 事務局：鷺野

・第3回常務理事会

日時：2019年2月9日（日）15:00-18:00

会場：青山学院大学3号館4階・3407教室

常務理事の出席：平松・鳥越・箕浦・土田・柳沢・船場 欠席：小菅・今田

監事の出席：入江 欠席：沖山 事務局：鷺野

・第4回常務理事会

日時：2019年4月6日（土）15:00-18:00

会場：青山学院大学3号館4階・3407教室

常務理事の出席：平松・鳥越・土田・箕浦・船場 欠席：小菅・今田・柳沢

監事の出席：入江・沖山 欠席：なし 事務局：鷺野

[資料4] 2018年度決算案 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	備考
会費収入	921,000	868,000	-53,000	
一般会員	816,000	810,000	-6,000	135名分(延べ)×6000円
学生会員	39,000	12,000	-27,000	4名分×3000円
賛助会員	0	0	0	
団体会員	24,000	12,000	-12,000	2団体分×6000円
JASE委員会	42,000	34,000	-8,000	17名分×2000円
会費前受け金	0			
事業収入	-	12,500	12,500	
コンテンツ事業	-	0		
企画運営(例会)	-	0		
企画運営(シンポジウム)	-	0		
学術事業	-	12,500	12,500	春季研究発表会資料代(6,000円:一般1,000円×5名、学生500円×2名 現金) 秋季研究発表会資料代(6,500円:一般1,000×5名、学生500円×3名 現金)
協会誌編集	-	0		バックナンバー販売 ※前年度実績
国際委員会	-	0		
活動推進	-	0		
ワーキンググループ	-	0		
企画運営	-	0		
雑収入	-	20,012	20,012	寄付20,000円(現金)、利子12円(三井住友銀行)
今年度収入合計	921,000	900,512	-20,488	
前年度繰越金	2,531,939	2,531,939		期首残高内訳:郵便口座2,420,330円、銀行口座78,486円、小口現金31,537円、他1,586円
収入合計	3,452,939	3,432,451	-20,488	

支出の部

科目	予算額	決算額	差額	備考
事業費	850,000	359,908	-490,092	
企画運営(シンポジウム)	100,000	63,920	-36,080	講師等情報交換会招待(24,500円 5/28振込)、アルバイト(30,000円 5/28振込)、会議費(4,370円 5/28振込)、フライヤー印刷費5050円(3/23振込)、記録・文字起こし費等シンポジウム開催・記録経費
企画運営(例会)	120,000	50,157	-69,843	第2回例会経費8,593円(収入15,000円-支出23,593円 12/12現金)、第3回例会経費41,564円(会場費6,480円3/17振込、その他6,900円3/26振込、その他28,184円3/31振込)
アーカイブ事業(記録・保存・発信)	100,000	0	-100,000	記録・保存・編集費 ※前年度より30,000円の増額
研究会(WG等への助成)	170,000	81,024	-88,976	震災プロジェクト41,505円(12/27振込)、自然のひびきを聴く会WG 30,880円(3/18振込 3/22振込)、サウンドスケープ・デザイン・ラボWG8,639円(3/23振込)
協会誌編集	120,000	107,123	-12,877	編集0円、書評謝礼15,000円(6/15振込)、書籍購入1,900円(6/21振込)、文字起こし86,691円(3/7振込) デザイン外注費0円、製本費3,532円(Vol.18製本4冊分3/23振込)
学術事業(研究発表会)	80,000	20,494	-59,506	春季研究発表会経費6,244円(製本カバー-5,184円、送料1,060円 12/28振込)、秋季研究発表会14,250円(製本カバー-6,250円 3/22振込、アルバイト8,000円 12/2現金)
学術事業(研究推進)	50,000	34,207	-15,793	共同研究プロジェクトへの補助(8/20~22支出分)12,469円(収入21,958円-支出34,427円 12/28振込)、共同研究プロジェクトへの補助(3/11~13支出分)13,790円(3/22振込)、会議費7,948円(3/22振込)
活動推進(推進・広報)	30,000	2,983	-27,017	書籍2,983円(1/31現金)
20周年展コンテンツ社会化	20,000	0	-20,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
国際委員会	60,000	0	-60,000	JASE会費(振込手数料込)※2年分
管理費	345,000	320,994	-24,006	※2018年度予算は2017年度予算より40,000円減額計上
事務局費	240,000	240,000	0	事務経費(2万円×12か月 6/21振込 2/19振込)
会議費	15,000	6,000	-9,000	会議室代3,000円(1/24現金)、会議室代3,000円(2/9現金)
通信連絡費	40,000	39,421	-579	2018年度総会等案内郵送費14,720円(160通4/18現金)、返信用通信費10,292円(4/17現金)、印刷費8,000円(10円×160部×5面3/23振込)、封筒代5,967円(3/23振込)、レターパック360円(現物使用)、切手82円(現物使用)
ウェブサーバ費	30,000	28,057	-1,943	ウェブページサーバー・ドメイン維持費(28,057円 2/19振込)
印刷費	10,000	0	-10,000	会議資料印刷等(10円×1000面)
雑費	10,000	7,516	-2,484	振込手数料等4,536円(216円×11回・432円×1回・864円×2回)、領収書発行用角印2,980円(3/23振込)
2018年度支出合計	1,195,000	680,902	-514,098	
次年度への繰越金額	2,257,939	2,751,549	493,610	期末残高内訳:郵便口座2,608,458円、銀行口座78,498円、小口現金等63,449円、他1,144円
支出合計	3,452,939	3,432,451	-20,488	

[資料5] 監査意見

監査 意見書

2019年4月6日

日本サウンドスケープ協会
理事長 鳥越けい子 殿

日本サウンドスケープ協会「2018年度事業計画」ならびに「2018年度事業報告(案)」および「2018年度予算」ならびに「決算書(案)」および「金融機関の取引一覧表」の情報に基づき、以下2018年度の日本サウンドスケープ協会の活動に対し、監査報告を申し上げます。会計は原則金融機関を通じて行われており、上記資料を総合的に勘案し、会計処理は適切に行われていることを報告する。その上で、以下、事業運営についての意見・見解を申し上げます。

組織活動の効率化と活動の活性化を進めるために、2015年度より進めている組織改革により、特に例会やワーキング・グループ活動の活性化にみられるように協会改革は成果をあげつつあるといえる。シンポジウム・例会・研究会・協会誌編集・研究発表会・研究推進については、事業予算額に比べ決算額は低いものの、これは各活動の節約の効果によるものであり、活動の低迷を表わすものではない。一方、アーカイブ事業・20周年展コンテンツ社会化部門については、目立った活動は見られなかったため、なお一層の事業活性化に努力すべきと考える。

協会収入の主な財源である会費収入については、2016年度までは、退会手続きをしない会員数を予算案に計上してきたため、予算と決算の間に収入の大幅な差が現れる状態が続き、収支計画を立てにくい状態が続いてきたが、2017年度より、3か年度以上滞納した会員に対して、退会扱いとする処置を続けていることで、会員数の実態が明らかとなり、確実な収入予測に基づく予算づくりが可能となったことが認められる。

2018年度の支出について、事業費の消化率が低いものの、その原因は活動そのものの節約によるものであることは上記のとおりであるが、WF AEへの会費のやりとりが滞っていることが窺えるので、WF AE側の事情も勘案しながら、事務的事項に関しても協会としてコミュニケーションをはかるよう要請する。

協会員による協会活動活性化のため、引き続き、執行部である常務理事会・各事業運営委員会、および理事会が一層協力をして、協会運営の方法を検討しつつ、その活動を牽引することを期待する。

以上

監事 入江和朗
監事 沖山文敏

※署名捺印は配布用資料では省略しています。

〔資料6〕協会法人化に関する検討案

提案1. 協会組織を任意団体から一般社団法人に移行する。

法人化の趣旨：当協会は、サウンドスケープという考え方のわがくにへの導入と、その考え方を通じての各分野の研究者、行政関係者、教育者、企業、そして生活者の情報交流と意見交換の場づくりという目的を掲げ、さまざまな試行錯誤を繰り返しながらその歩みを進めてきた。協会創立25年を経た協会の在り方を検討した結果、協会活動をより有意義な形で今後展開していくため、任意団体としての協会組織を「一般社団法人」とすることを提案する。その背景には、これまでも「協会の法人化」について何度か提案なされてきたこと、また2008年に、従来と比べて法人の設立が容易になったこと等がある。

提案2. 法人化に向けた手続きおよびスケジュールとしては以下のとおり。

- ・法人化の具体的な検討を行うために、常務理事会の中に「法人化特別委員会」を設置する。
- ・特別委員会は、常務理事の一部と常務理事会の推薦を得た者を加えて構成する。
- ・総会にて成案を得た際には、法人化特別委員会が協会の法人化に関する業務を担う。
- ・法人化のスケジュールは、2019年度中を目途におこなうこととする。
- ・現会員は、法人化後、自動的に法人に移行することとする。

備考：本件に関連して、現在までに常務理事会で検討した内容の一部は以下のとおり：

○法人化することのメリット

任意団体（権利能力なき社団）に比べ、法人化することにより、社会的信用が高くなる。結果、社会的提言を行う、助成を受けるとか、受託事業を含め各種事業を行いやすくなる。

○法人化することのデメリット

事務が若干煩瑣になる。設立手続きの必要（手続き印紙代が11万円かかる）。毎年、貸借対照表、損益計算書の作成。法務局に報告する義務。課税（国税、地方税）される（年に7万円）。2年ごとに理事登録の印紙代1万円、などの費用がかかる。

○法人化までの手続き

- ・「法人化」とは、新たに一般社団法人を設立し、現在の任意団体を解散し、その活動を新たな一般社団法人に移行する。ただし、法人化の手続きを完了したとき、任意団体と法人とが並立することになる。
- ・法人化に必要な手続き等の細部に関しては、法人化特別委員会を組織し、必要な規約案等を作成する。
- ・設立「社員」は定款に住所氏名と捺印が必要となるので、かなり限定された人数となる。
- ・法人は代議員制をとる可能性が高い。現会員は退会の希望がないかぎり法人の会員となる。
一般会員については法人化による影響はほとんどない。
- ・年内を目処に法人登記を行い、税務署等に各種届出を行う。
- ・任意団体の財産は、解散にともない法人の基金とする。
- ・公告：電子公告（さもなくば官報）による。

[資料7] 2019年度活動方針ならびに事業計画案

1. 2019年度活動方針

- 1) 全協会員のための研究活動の促進と環境整備
- 2) 協会資源（人的／物的）の発掘と活用
- 3) 協会活動の発信と運営基盤の強化
- 4) 法人化の具体的な検討と実施

2. 総会・シンポジウムの開催

- ・総会および理事会（主担当：活動推進委員会）

日時：2019年5月26日（日）10:00－12:00

会場：青山学院アスタジオ 地下ホール

- ・シンポジウム（主担当：企画運営委員会）

タイトル「音風景は文化遺産となりうるか」

日時：2019年5月26日（日）13:30－17:30

会場：青山学院アスタジオ 地下ホール

コーディネーター：箕浦一哉（山梨県立大学教授国際政策学部教授）

- 第1部 基調講演：文化遺産保全の歴史と展望

荻谷勇雅（日本イコモス国内委員会副委員長）

- 第2部 事例報告：ミュージックサイレンをめぐる

上野正章・兼古勝史（協会共同プロジェクト）

- 第3部 ディスカッション：音風景は文化遺産となりうるか

パネリスト 荻谷勇雅（日本イコモス国内委員会副委員長）

土田義郎（金沢工業大学建築学科教授）

鳥越けい子（青山学院大学総合文化政策学部教授）

大門信也（関西大学社会学部准教授）

資料代：1000円、会員・学生は無料にて実施。

共催：青山学院大学総合文化政策学部鳥越研究室

実行委員会：箕浦一哉（山梨県立大学）、鳥越けい子（青山学院大学）

- ・情報交流会（主担当：シンポジウム実行委員会）

日時：2019年5月26日（日）17:40－18:40

会場：青山学院アスタジオ 地下ホール ロビー

3. 例会の開催（主担当：企画運営委員会）

現状、2019年度の例会開催は未定。

4. 研究発表会の開催（主担当：学術事業運営委員会）

・春季研究発表会

日時：2019年5月25日（土）13:30-17:30

会場：東京大学柏キャンパス新領域環境棟6階講義室

実行委員会：上野正章（京都市立芸術大学・実行委員長）

箕浦一哉（山梨県立大学）、佐久間哲哉（東京大学）

・秋季研究発表会

日時：2019年12月を予定 詳細未定

5. 広報活動ならびに関連事業（主担当：活動推進委員会）

・協会ウェブサイトのコンテンツ充実や

Facebook等に活用により基礎的な発信力強化をはかる。

・各種メーリングリストの運営

6. 研究会活動への助成と活動の公開（主担当：研究会）

・サウンドスケープに関する活動を推進するため、

ワーキング・グループには3万円程度、震災プロジェクトには5万円程度を上限に助成する。

なお、助成するグループの採択や実際の助成額は、予算を勘案しながら常務理事会でおこなう。

・ワーキング・グループやプロジェクトの活動を会員内外に広く発信するため、

ウェブページへの一覧と紹介文の掲載をおこなう。

・2019年度は以下の新規設立申請があった。

ワーキング・グループの新規設立申請のあったグループ

1) 騒音史を語る WG (代表：平松幸三)

・2019年度は以下の申請（記載は申請順）があった。助成は常務理事会で採択されたのち決定。

ワーキング・グループ活動への助成申請のあったグループ

1) サウンド・エデュケーション WG (代表：神林哲平)

2) サウンドスケープ・デザイン・ラボ WG (代表：鷺野宏)
3) 自然のひびきを聴く会 WG (代表：大庭照代、兼古勝史)
4) 騒音史を語る WG (代表：平松幸三)
5) 祭りや伝統文化の音風景を考える会 (代表：中間和之)

7. 記録整備 (主担当：アーカイブ事業運営委員会／活動推進委員会／各実行委員会)

- ・協会活動アーカイブの整備・公開の推進

8. 20周年展コンテンツ書籍化事業 (主担当：20周年展コンテンツ社会化プロジェクト)

- ・20周年展でのコンテンツの書籍化等に向けたプロジェクトを立ち上げ、活動を開始。

9. 協会誌の発行 (主担当：協会誌編集委員会、学術事業運営委員会)

- ・年度内1回程度の発行の予定

10. 国内外の団体との連携・交流

- ・協会主催企画や国際委員会等を通じて内外団体との連携・交流を進める。

11. サウンドスケープ研究の推進 (主担当：学術事業運営委員会)

- ・サウンドスケープ研究の推進をおこなう共同研究プロジェクトのために会議費等の補助をおこなう。

12. 法人化にむけての議論と実施 (主担当：法人化特別委員会)

- ・協会法人化にむけた仔細の検討を行うとともに、成案を得た際には、法人化に実行を担う。
なお、特別委員には、常務理事会のメンバーを中心に常務理事会の推薦を得た者を加える。

13. その他

- ・常務理事会は3回程度を予定

[資料8] 2019年度予算案 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	備考
会費収入	919,000	
一般会員	816,000	141名分(2018年度会員数実績)×6000円
学生会員	39,000	7名分(2018年度会員数実績)×3000円
賛助会員	0	
団体会員	24,000	2団(前年度で退会2団体あり)×6000円
JASE会員	40,000	20名分×2000円
会費前受け金	0	
事業収入	22,500	
アーカイブ事業	-	
企画運営(例会)	-	
企画運営(シンポジウム)	10,000	1,000円×10名
学術事業	12,500	資料代(一般1,000円×10名、学生500円×5名で想定)
協会誌編集	-	バックナンバー販売 ※前年度実績
国際委員会	-	
活動推進	-	
ワーキンググループ	-	
企画運営	-	
雑収入		寄付、利子
今年度収入合計	941,500	
前年度繰越金	2,751,549	期首残高内訳:郵便口座2,608,458円、銀行口座78,498円、小口現金63,449円、他1,144円
収入合計	3,693,049	

支出の部

科目	予算額	備考
事業費	1,120,000	
企画運営(シンポジウム)	140,000	講師謝礼、アルバイト、会議費、フライヤー印刷費、記録・文字起こし費等
企画運営(例会)	120,000	会場費、謝礼、アルバイト、記録・文字起こし等の開催および記録経費1回60,000円×2回実施想定額
アーカイブ事業(記録・保存・発信)	100,000	記録・保存・編集費
研究会(WG等への助成)	170,000	ワーキンググループへの活動助成として(12万円:申請された5件への助成総額)、震災プロジェクトへの活動助成(5万円程度)
協会誌編集	120,000	編集、謝礼、書籍購入、文字起こし、デザイン外注、製本費等
学術事業(研究発表会)	80,000	研究発表会経費(会場費、資料作成費、アルバイト費、記録・文字起こし等)
学術事業(研究推進)	50,000	サウンドスケープ研究の推進をおこなうための共同プロジェクトに対する会議費等の補助
活動推進(推進・広報)	30,000	協会活動の推進と情報発信のための経費
20周年展コンテンツ社会化	20,000	20周年展コンテンツの書籍化等推進のための経費
国際委員会	90,000	JASE会費(振込手数料込)※3年分
法人化検討・実施	200,000	法人化の検討および法人化経費
管理費	365,000	
事務局費	240,000	事務経費(2万円×12か月)
会議費	15,000	会議室代等
通信連絡費	60,000	2019年度総会等案内郵送料13,984円(152通×92円現金)、出欠返信用通信費9,424円(152通×62円)、印刷費7,600円(152通×5面×10円)、理事選投票用通信費12,136円(148通×82円)投票用紙返信用封筒2,062円、投票用紙印刷費2,960円(148通×2面×10円)、書類郵送6,120(360円×17通)…以上、54,280円予算執行済み
ウェブサーバ費	30,000	ウェブページサーバー・ドメイン維持費
印刷費	10,000	会議資料印刷等(10円×1000面)
雑費	10,000	振込手数料等
2019年度支出合計	1,485,000	
次年度への繰越金額	2,208,049	
支出合計	3,693,049	